



マーク：福田 常雄 氏

ふじみ

第170号

令和4年4月1日

発行人 社会福祉法人みちのく協会
責任者 理事長 工藤 和子
施設 特別養護老人ホーム富士見荘
ケアハウスアーベイン八幡平
松尾デイサービスセンター
介護相談所陽だまり
(富士見荘指定訪問介護事業所・富士見荘指定居宅介護支援事業所)
地域密着型介護老人福祉施設はらからの里

岩手県八幡平市松尾寄木第11地割13番地1
電話 0195(78)2455(代) FAX 0195(78)2467
E-mail info@michinoku.or.jp
URL https://michinoku.or.jp

「新年度を迎えて」

社会福祉法人みちのく協会
理事長 工藤 和子

厳しい冬の寒さもようやくやわらかな陽ざしとなりつつ、新年度を迎えようとしております。昨年度の当協会の事業運営につきましては、地域の皆様、ご家族様からのご理解、ご協力を賜りまして安全に事業運営が行えましたこと、心より感謝いたしております。向こう二年間、新型コロナウイルス感染症の感染対策に追われ恒例行事の開催も見送られており、残念でなりません。今年こそ皆様と共に夏祭りなどの交流行事が開催できますことを願っております。

また、先日も大きな地震がありました。ただでなく、地震や水害といった自然災害にも注視していかなければなりません。災害は忘れたころにやってくると言いますが、「備えあれば憂いなし」ですので、皆様の尊い命をお守りするために「日ごろの訓練」を実直に繰り返し行うことが、重要であると考えております。

さて、今年度の事業の重点項目を紹介しておきます。

一、中長期経営計画の実行

大きな課題として「人材育成」と「経営基盤の強化」を挙げておりますが、それぞれ実践と評価の段階に移っております。とにかく全職員が情報を共有して、実行に移すことを目的として活動してまいります。

二、感染症対策の強化

新型コロナウイルス感染症が広がって三年目を迎えており、徐々に共存していく段階に移ってきていると思えます。中長期経営計画のBCP(事業継続計画)の策定と同時進行で対策の実施と検証を行ってまいります。

三、地域貢献事業

コロナ禍で思うような活動ができておりませんが、高齢者の置かれている生活環境が複雑化しており、支援が行き届かない福祉需要が出てきているように思います。交流機会の創出に努めます。

今年度も新型コロナウイルス感染症に対応した事業運営になると思えます。引き続き、地域の皆様、ご家族様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

郷土の誉れ 小林陵侑選手 金・銀メダル獲得おめでとう

北京で行われた冬季オリンピックのジャンプノーマルヒルで金メダル。ラーヂヒルで銀メダルを獲得した際に出された「号外」を飾り付けて張り出し、ご利用者様と一緒に小林陵侑選手の活躍に万歳で祝福しました。



特別養護老人ホーム

富士見荘

☎(0195) 78-2455

おかみさん、一〇〇歳おめでとう

令和四年三月十六日、シヨートステイご利用中に松川荘のおかみさんが一〇〇歳を迎えられ、祝賀会を催しました。八幡平市からご祝儀と富士見荘からお花をプレゼントさせていただきました。利用中は、自分の足で歩き、食事もしっかりと召し上がり、職員や他のご利用者様にも大きな声で挨拶をしてくれます。あっぱれです！



「ひな祭り」

三月三日、今年のひな祭りはアトラクションとして、ユニット対抗の「ちらし寿司コンテスト」を行いました。全てのユニットから綺麗で美味しそうな、創作寿司が次々と出品され、厳正なる審査が行われた結果、「峡雲ユニット」が作った手まり寿司が最優秀賞の栄冠に輝きました。

最優秀賞



春彼岸

令和四年三月二十二日、鷲連寺のご住職さまに来ていただき、施設から旅立たれた方々のご供養のために法要を行っていただきました。

感染予防対策のため、職員だけ参加ということもあり、お彼岸の期間は、先祖のご供養の他に「六波羅蜜」という自身を反省するための修行の機会でもあるということをご教示いただきました。

- 布施く人に施しを与えること
 - 特戒く戒律を守り、省みること
 - 精進くすべての生き物に感謝すること
 - 忍辱く辱めを受けても堪え忍ぶこと
 - 禅定く心を落ち着かせ自己反省すること
 - 智慧く物事を正しく見る目をもつこと
- ご先祖様に感謝して、心穏やかに自己を見つめ直す期間にしたいと思います。



はらからの里

地域密着型介護老人福祉施設

☎(0195) 68-7880

水木団子飾り

今年も水木に飾り付けを行いました。栄養士が団子に赤、緑、青、黄に色づけして、それを入居者の皆さんで五穀豊穡と家内安全を祈りながら上手に飾りつけを行いました。



節分行事



この日、太巻き寿司を入居者様と一緒に作る予定でしたがコロナの感染拡大の為、栄養士が一人で太っ腹寿司を作ってくれました。入居者様はあまりの大きさにびっくりされた様子でした。お昼に太っ腹寿司を美味しくいただきました。午後には赤鬼と青鬼が今年もはらからの里にやってきました。入居者様は「鬼は外、福は内」と掛け声をかけ鬼を追い払いました。鬼からのお願いで豆は痛いのでチラシを丸めた物に変えてもらいました。



焼き芋会

この日、外でお焚き上げをしながら焼き芋を行う予定でしたが外は猛吹雪の為、変更し施設の中で芋巾着作りを行いました。



桜餅

三月三日に栄養士が桜餅と甘酒を作り皆さんに召し上がってもらいました。大変好評で「もう一つ食べたい」との声がたくさん聞かれました。



松尾デイサービスセンター

☎(0195) 78-3720

新春どっぴき大会

令和四年最初の行事は、「新春どっぴき大会」。今年は縄の長さを四メートルと長くして、密にならないようにして行いました。

「シャンシャンのシャン」の掛け声と鈴等の音が響きます。ロープの先に鈴等、飾りが付いていた人が当たりです。平等に皆様に当たって欲しいのですが、なぜか当たる利用者様は何回も当たり、残念ながら当たらない利用者様も……。

景品は、チョコ菓子やせんべい、ポケットティッシュに加え、今年は、マスクも登場。今年が一番人気景品は「マスク」でした。これもまたコロナの影響ですかね。

皆様の笑い声で福を呼び込むことができ、今年も皆様が元気に過ごせることを願うばかりです。



節分行事

例年であれば、「鬼は外、福は内」の掛け声が響く、節分行事。こちらでもコロナの感染拡大の影響で、園児を呼ぶことができず、豆まきも中止せざるを得ない状況に……。そこで、今年の節分行事は、近隣保育園の発表会のDVD鑑賞会を行いました。直接会うことはできませんが、子どもたちの劇やお遊戯などの様子を見て、利用者様の表情は終始ニコニコ。ひ孫を見ているような気分で、楽しいひと時を過ごして頂けたなら幸いです。節分に用意した豆はお土産に皆様にお渡ししました。

鬼に豆をぶつけるのを楽しみにしていた方々、来年こそは思いっきり豆まきができるよう、今年こそ鬼退治ならぬ、「コロナ退治」ができますように。



祝 百二歳

大正九年生まれの立柳カネ様が、一月に百二歳のお誕生日を迎えられました。デイサービスではささやかながら、お祝いをさせていただきました。百二歳のお祝いをするのは、デイサービスでも初めてのことです。同じご利用日だった利用者様からもたくさんの「おめでとう」とお祝いの声が響きました。余談ですが、ケーキ屋さんにロウソクを依頼する際、「1」「0」「2」をくださいと話したところ、復唱しながら「102歳ですか!」と驚いていました。いつも優しい笑顔でお話してくれますが、この日も素敵な笑顔を見せてくれました。これからも元気にご利用頂ければと思います。おめでとうございます。



リゾート型ケアハウス
アーベイン八幡平

☎(0195)
78-2710

「新年度を迎えるにあたり」

ケアハウスアーベイン八幡平

施設長 **田代 貴典**

春光うらかな季節となり令和四年度がはじまりました。新しい年度に期待を膨らませている方も多いのではないのでしょうか。

昨年度をふりかえるとコロナ禍であっても入居されている皆様豊かに生活していただくことができるかを模索していた一年でした。そのなかで入居の皆様には大きな事故等もなく無事に過ごされたということが何よりであり、入居の皆様はもとより、そのご家族、地域の関係の方々など多くの人たちの温かいご支援があったからこそと改めて深く感謝申し上げます。

今年度においても入居されている皆様豊かに生活していただけるよう事業に取り組んでいくこととしておりますが、その基本は入居の皆様の日常生活をサポートすることにあります。生活を続けるうえで必要な買物、通院等外出へのサポート、手芸や合唱など文化、趣味活動へのサポート、そして、快適な生活環境を保持し、日常的には楽しんでいただける食事の提供や節目の行事の企画など、取り組むことはまだまだたくさんあります。

人は誰しも歳を重ねていきます。その過程で心ならずも病に倒れる場合も、又介護が必要になる場合もあります。そのような皆さんがずっと生活していただくことができるアーベイン八幡平を目指して今年度も励んでまいります。

「新しい健康器具」



以前、「シックスパッド・フットフィット」を導入したことをこの機関紙で書かせていただきましたが、現在、稼働ほとんどしておらず、ほこりをかぶった状態で棚の影にひっそりとたたずんでおります。

その他、「電動のルームウォーカー」は、動くもののボタンの利かなくところが数か所出てきてしまい、新しい物へ更新することとなりました。この更新の際に、車いすの入居者等でも利用できるものが何かないかと探していたところ、「フットマッサージ機」を発見いたしました。

「シックスパッド・フットフィット」も車いすの方が利用できるのですが、ちよつと刺激が強かったり裸足にならなければならなかったりするので、稼働の機会があまりなくなってしまうた。



新たに加わった「フットマッサージ機」

「コメディ」



最近、アーベイン八幡平のホールでテレビをつけていると、コロナのニュースやロシアのウクライナ侵攻のニュースなど、暗いニュースばかりで気持ち落ち込んでいきそうな情報ばかりが目立ってまいります。

入居者の皆さんは、外出行事や家族の面会の場所や時間制限など今まで通りできないことが多く、少しでも何か明るい内容のものがないかと思いい、ユーチューブを探していたところ、「ドリフトーズ」の動画がたくさんありました。

自宅でも、自分の子供たちが「バカ殿等（故・志村けんさん）」をユーチューブで見たいということが多く、子供には言葉が理解できなくても、身振り手振りや表情などを感じとり、笑顔で笑ってみております。

これはと思い、アーベイン八幡平のホールで、ユーチューブの「ドリフトーズ」のコントを入居者の方々に見ていただいたところ、反応は様々でしたが、とても喜んでみていただける入居者の方もおり、これもありかなと思えました。例えば、耳が遠くテレビの音が聞こえづらい状況でも、楽しめるものがあるのではないかと感じさせられました。

(遠藤)

愛

筆流

題字 関口作治氏

社会福祉法人 みちのく協会 基本理念

社会福祉法人みちのく協会の基本理念は「愛と献身」です。利用者一人ひとりの気持ちを大切に、心をこめた介護をいたします。

みちのく協会法人の動き

1	22 3回目コロナワクチン接種 (ご入居者様) 31 情報の公開 (調査受審)
2	3 節分行事 (豆まき)
3	3 ひな祭り行事 (お寿司料理コンテスト) 15・16 施設内救急救命講習会 22 春彼岸ご供養会

富士見荘利用者状況

(令和4年3月20日現在)

市町村	男	女	計
八幡平市	13	55	68
岩手町	0	4	4
その他市町村	0	2	2
合計	13	61	74

富士見荘入退居者状況

入居者	1月	2月	(0)	退居者	1月	(1)
	2月	1	(0)		1	(0)
	3月	0	(0)		1	(0)

※入居()内は再入居。退居()内は死亡

富士見荘短期入所生活介護

市町村	1月	2月	3月
八幡平市	263	218	237
他市町村	0	0	0
合計	263	218	237

編集後記

当地は雪解けの春を迎えています。心と体をリセットして、新しい一年に臨みたいと思います。



配食サービス

人数	1月	2月	3月
利用者数	157	138	140

介護職員初任者研修課程講座を開講します！

高齢化が進み、福祉施設や訪問ヘルパーなど介護職員の需要がますます高まっています。そして、将来大切なご家族を介護する際やご自身が介護される側になった時に、とても役に立つ資格です。

受講期間：令和4年6月6日(月)～令和4年11月7日(月)
(全22回、受講時間130時間)

お問い合わせ：0195-78-2455 担当 大金

